

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 真境名 勉
(公印省略)

令和2年度歯科医療従事者技術向上支援研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、昨年引き続き地域医療介護総合確保基金を活用して、標記研修会を開催することとなりました。

今回は、沖縄県立中部病院 歯科口腔外科 部長 新垣 敬一先生に『みんなで考えよう！コロナ禍の今だからこそ患者さん中心の充実した連携医療』を演題にご講演いただきます。

つきましては、下記のQRコードまたはURLより、来る2月15日までにお申し込みくださいますようお願いいたします。後日、申込者へwebex招待メールを送信いたします。

記

日 時：令和3年2月21日（日）午前10時～午後1時

場 所：オンライン（WEB会議ツール webex）

対 象 者：会員歯科医師・会員診療所スタッフ（歯科衛生士・歯科助手・歯科技工士）

講 師：沖縄県立中部病院 歯科口腔外科 部長 新垣 敬一先生

申込締切：令和3年2月15日（月）※厳守

講演内容：裏面

※webex接続時の表示名は、必ず申込者名で表示するようお願い申し上げます。

<https://forms.gle/rhc98hYcF4frQSSR7>



沖縄県歯科医師会事務局 與那嶺
〒901-1105 南風原町字新川 218-1
tel 098-996-3561 fax 098-996-3562

『みんなで考えよう！

コロナ禍の今だからこそ患者さん中心の充実した連携医療』

病院事業局 主幹
沖縄県立病院歯科口腔外科群
中部病院歯科口腔外科部長
新垣 敬一

○講演抄録

2020年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行するなど厳しい一年になりました。そのコロナ禍においては“ニューノーマル”という言葉が生まれています。われわれ歯科界においても同様で変わらなければならないと思います。特に昨年3月に四代目中村博幸教授が赴任し、新生琉球大学医学部歯科口腔外科がスタートしましたが、大学のコンセプトもあり、これまでの医療連携体制が変わろうとしている現実もあります。そこで本講演では、われわれ県立病院歯科口腔外科の現状を報告し、会員の先生方と一緒に今後の沖縄県の歯科医療がどのような連携で進むべきかを考え、少しでも“連携のニューノーマル”作りの一助となれる様に報告する予定である。

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 真境名 勉
(公印省略)

令和2年度歯科医療従事者技術向上支援研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、昨年引き続き地域医療介護総合確保基金を活用して、標記研修会を開催することとなりました。

今回は、日本大学松戸歯学部 放射線学講座 教授 金田 隆先生に『明日から使える歯科診療に必要な開業医のための画像診断と医療安全』を演題にご講演いただきます。

つきましては、下記のQRコードまたはURLより、来る2月26日までにお申し込みくださいますようお願いいたします。後日、申込者へwebex招待メールを送信いたします。

記

日 時：令和3年3月7日（日）午前10時～午後1時

場 所：オンライン（WEB会議ツール webex）

対 象 者：会員歯科医師・会員診療所スタッフ（歯科衛生士・歯科助手・歯科技工士）

講 師：日本大学松戸歯学部 放射線学講座 教授 金田 隆先生

申込締切：令和3年2月26日（金）※厳守

講演内容：裏面

※webex接続時の表示名は、必ず申込者名で表示するようお願い申し上げます。

<https://forms.gle/PUVhdGrStxAEDiyn8>



沖縄県歯科医師会事務局 與那嶺
〒901-1105 南風原町字新川 218-1
tel 098-996-3561 fax 098-996-3562

『明日から使える歯科診療に必要な開業医のための画像診断と医療安全』

日本大学松戸歯学部放射線学講座 金田 隆

歯科診療に必要な画像検査は口内法やパノラマエックス線検査が主流であり、歯や歯周組織、顎骨病変、上顎洞病変の鑑別診断のみならず、インプラントや矯正治療の術前検査や顎関節症のスクリーニング検査および患者さんへの病状説明の資料としても、毎日の歯科臨床において必須の画像検査法です。一方、コンピュータや医療機器の進歩に伴いエックス線 CT (Computed tomography) や MRI(Magnetic resonance imaging : 磁気共鳴画像検査法) 検査が広く臨床に普及し、近年ではコーンビーム CT の開発、普及に伴い、歯科開業医でもインプラント治療や顎関節治療を中心にこれらデジタル画像を臨床に応用しています。

そこで今回は、日常歯科臨床に必修な口内法、パノラマエックス線検査法から CT および MRI にいたる、歯科診療に必要な開業医のための画像診断をブラッシュアップするために、1) パノラマエックス線写真の正常解剖像の修得、2) 読影の妨げとなる障害陰影やデジタルエックス線装置を含む、検査上の注意点、3) 臨床において鑑別を必要とする歯や歯周組織、顎骨病変および上顎洞病変の画像診断、4) インプラント治療や顎関節症の診断治療、5) CT 被曝の概念や 2020 年 4 月 1 日から法制化された医療放射線の安全管理について供覧し、歯科診療に必要な開業医のための明日から使える画像診断および医療放射線の安全管理のスキルアップをはかります。

参考文献

- 1) 金田隆, 酒井 修 編著 : 顎口腔の CT・MRI, メディカルサイエンスインターナショナル, 東京, 2016.
- 2) 森本泰宏, 金田 隆 監著 : 今さら聞けない歯科用 CBCT と CT の読像法 : 三次元でみる顎顔面領域の正常解剖と疾患, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017
- 3) 山下康行(監修), 金田 隆, 中山秀樹, 平井敏範, 生嶋一郎編 Key book 「知っておきたい顎・歯・口腔の画像診断」 秀潤社, 東京, 2017.
- 4) 金田 隆 編著 : 基本から学ぶインプラントの画像診断, 砂書房, 東京, 2008.

○略 歴

1986 年 3 月 31 日 日本大学松戸歯学部卒業
1986 年 6 月 1 日 日本大学助手 松戸歯学部放射線学講座
1993 年 4 月 1 日 日本大学講師 松戸歯学部放射線学講座
1996 年 7 月 1 日 アメリカ合衆国ハーバード大学医学部
Massachusetts Eye and Ear Infirmary 放射線科 研究員ならびに
Massachusetts General Hospital 放射線科研究員
1999 年 3 月 1 日 日本大学教授 松戸歯学部放射線学講座



現在に至る